

■ 2020年京都大学の問題で、文理共通問題。

$k$  を正の実数とする。座標空間において、原点  $O$  を中心とする半径 1 の球面上の 4 点  $A, B, C, D$  が次の関係式を満たしている。

$$\begin{aligned}\vec{OA} \cdot \vec{OB} &= \vec{OC} \cdot \vec{OD} = \frac{1}{2}, \\ \vec{OA} \cdot \vec{OC} &= \vec{OB} \cdot \vec{OC} = -\frac{\sqrt{6}}{4}, \\ \vec{OA} \cdot \vec{OD} &= \vec{OB} \cdot \vec{OD} = k.\end{aligned}$$

このとき、 $k$  の値を求めよ。ただし、座標空間の点  $X, Y$  に対して、 $\vec{OX} \cdot \vec{OY}$  は、 $\vec{OX}$  と  $\vec{OY}$  の内積を表す。

■ 関係式が内積だけ。求めるのも内積の値。アプローチは様々あり得るだろうが、図を描けたらいいのと思う。

第 1 の条件から、 $\angle AOB = \angle COD = \pi/3$  であることはわかるが、あとはどうしたものか。

$A, B$  は、 $\angle AOB = \pi/3$  を満たすように適当に設定してよいが、残りの点  $C, D$  はどうするか。

第 2 の条件、第 3 の条件の対称性から決まってくるはずである。

第 2 の条件から、 $C$  は線分  $AB$  の垂直二等分平面  $\alpha$  上にあり、この単位球面  $S$  上にもあるから、 $\alpha$  と  $S$  の交円上に存在する。

そして、第 3 の条件から、 $D$  もその交円上にあつて、 $\angle COD = \pi/3$  を満たす点だが、2 つ存在しうる点のうち、 $k > 0$  から、 $\angle AOD = \angle BOD$  が鋭角であるものであろう。

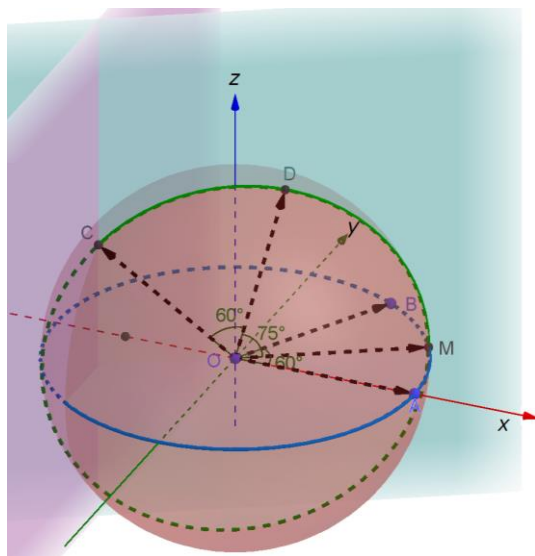
■ 以上をもとにして GeoGebra で描いてみると次のようになった。

$M$  は弧  $AB$  の中点である。ブルーが線分  $AB$  の垂直二等分平面  $\alpha$  で、 $\alpha$  と  $S$  の交円をグリーンで描いてある。

点  $C$  の  $x$  座標は、第 2 の関係式の  $\vec{OA} \cdot \vec{OC}$  の値から、

$-\frac{\sqrt{6}}{4}$  であり、平面  $x = -\frac{\sqrt{6}}{4}$  は図の紫である。

$C$  はこの紫平面とグリーンの円との交点になる。



また、 $\angle COD = \pi/3$  となる交円上の点は 2 つ存在するが、 $\angle AOD$  が鋭角となるのは、図のような場合である。

■ 一般に、単位球面上の点  $P$  の座標は、 $xy$  平面へ  $P$  から下ろした垂線の足を  $H$  とするとき、 $A(1, 0, 0), N(0, 0, 1)$  に対して  $\angle AOH = \phi$ 、 $\angle NOP = \theta$  として  $P(\sin \theta \cos \phi, \sin \theta \sin \phi, \cos \theta)$  と表せるが、出題者的には  $A(1, 0, 0)$ 、

$B(\cos \pi/3, \sin \pi/3, 0)$ 、 $M(\cos \pi/6, \sin \pi/6, 0)$  として、 $C$  については  $\phi = \frac{\pi}{6}$ 、 $\theta = -\frac{\pi}{4}$  という設定にしたので、第 2 の関係式の内積の値が登場している。

また、 $\angle COD = \pi/3$  であるため、 $D$  については  $\phi = \frac{\pi}{6}$ 、 $\theta = \frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{4} = \frac{\pi}{12}$  の設定になったのであろう。

これによって、 $D$  の座標は  $\left(\sin \frac{\pi}{12} \cos \frac{\pi}{6}, \sin \frac{\pi}{12} \sin \frac{\pi}{6}, \cos \frac{\pi}{12}\right)$  すなわち  $\left(\frac{3\sqrt{2}-\sqrt{6}}{8}, \frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{8}, \frac{\sqrt{6}+\sqrt{2}}{4}\right)$  となり、 $\vec{OA}$ 、 $\vec{OD}$  の内積の値から、 $k (> 0)$  の値が、 $D$  の  $x$  座標に等しい値として求まる。

■ 出題者はこういった図を描きながら、作問を進めたということだろうと思われる。